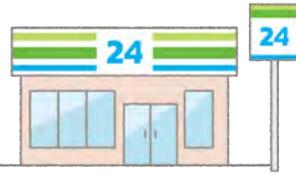


12/1(金)  
開始!

## 夜間・休日もマイナンバーカードで！ 証明書をコンビニなどで発行できます

問 町民課 戸籍環境係 ☎0965-52-5851



### 夜間・休日でも

#### 利用可能時間

6時30分～23時  
役場の閉庁後や休日にも利用できます。

### 全国のコンビニなどで

#### 利用場所

セブンイレブン、ローソン、  
ファミリーマート、イオン九州  
のマルチコピー機

### マイナンバーカードを使って

数字4桁の暗証番号（利用者  
証明用電子証明書）を設定し  
たマイナンバーカードが必要  
です。



#### 発行できる証明書

- ・住民票の写し（本人・世帯分）
- ・印鑑証明書（本人分）
- ・所得証明書（本人分）
- ・課税証明書（本人分）

#### 手数料

証明書 1 通当たり300円

#### 利用できる人

氷川町に住民登録がある人

#### ご注意ください

- ・利用者証明用電子証明書の有効期限が切れた・暗証番号を忘れた場合  
→町民課または宮原振興局窓口で再発行・再設定が必要です。
- ・転居届の直後や同一世帯に転出予定者がいる場合  
→コンビニでの交付ができない場合があります。

役場窓口での交付は、  
これまで通りの手続き  
で行います

## 埋蔵文化財の保護にご協力ください

問 生涯学習課 生涯学習係 ☎0965-52-5860

土器や石器、古墳など土の中に埋まっている文化財は「埋蔵文化財」と呼ばれ、破壊されてしまうと復元ができないため、文化財保護法で保存の対象となっています。町内にも古墳など多くの埋蔵文化財があります。郷土の貴重な遺産を守るためには、皆様のご協力と理解が不可欠です。住宅建設などの土木工事を行う際には、事前にご相談ください。

### 埋蔵文化財包蔵地とは

発掘調査や過去の文献、地域の伝承などにより、地中に埋蔵文化財が存在すると推定される地域のことをいいます。



1

### 埋蔵文化財包蔵地の確認

工事予定地が該当するか、生涯学習課で確認を行ってください。

2

### 工事の届出

埋蔵文化財包蔵地に該当する場合、工事着工の60日前までに届出書の提出が必要です。

3

### 県教育委員会の指示に従う

提出された届出により熊本県教育委員会が今後の指示を行います。  
例) 工事への文化財担当者の立ち会いなど

## 4年ぶりに町政懇談会を開催しました

5月8～11、15日の5日間、町内4つの会場で「小さなまちで、大きな幸せを感じる田園都市・氷川」の実現に向け、町政運営に関するご意見などをお聞きするため、町政懇談会を開催しました。参加者の皆さんからいただいたご意見などその一部（要旨）をご紹介します。



近年の気象状況からみた氷川の流量、水害対策について教えてください。

2級河川である氷川の管理は県です。氷川河川整備基本方針において、降水量が2日間で420mmまでに対応した河川整備が来ています。対策としてどのように備えるか、どういう場所が浸水被害を受けるかを図面に落とし込んだ「総合防災マップ」を各家庭にお配りしています。今一度、確認をお願いします。また、避難などについての迅速な情報提供に努めていきます。



通学路の危険箇所について地区の美化作業では限界があります。行政で対応できませんか？

通学路については、PTAと安全点検を行っています。今年度も建設下水道課、県、国と協力し通学路の点検を実施します。年間を通じて気付かれたことがあれば連絡をお願いします。



地区要望は一度要望をした場合二度要望はできないと聞きましたが、どうなっていますか？

過去に提出された要望は、担当課にデータ化され保存されています。要望内容は把握できているため再度の要望は不要としています。また、要望に対する回答を全ての地区にお返ししていますので、まずは回答内容の確認をお願いします。地区で再度検討され必要ということであれば再度要望されても構いません。



人口対策（給食費の無償化など）について町の考えを聞かせてください。

給食費の無償化は町の魅力の1つですが、各学校への支援員の配置、図書の購入費用などの予算を確保し、学力の向上を基本にしっかりと子どもたちの教育が守られていることも、大きな魅力になると考えます。給食費についても補助を行っています。こうした保護者の負担軽減となる取り組みについては、引き続き検討を進めていきます。日本全体で少子化が進んでいます。お金を配れば少子化に歯止めがかかるというわけではありません。給食費への補助、保育料の無償化、医療費の無償化、教育や福祉これら全てを一体的に取り組むことで初めて効果が生まれていくと考えます。



また、若い人たちがこの町に残るために、仕事をつくり出すということも重要です。農業という産業1つに目を向けても、後継者不足などさまざまな問題が多くあります。そうした問題にも目を向け、守りながら新たな働く場を創っていく必要があります。働く場所に行くためのアプローチとして、スマートインターを造りました。大きな工場が建つ菊陽町までも通勤圏内です。氷川町に住みここから通うという選択肢についても準備できているかと思えます。人口をきちんと保っていくための政策に、あらゆる面から取り組んでいきます。皆さんもいろいろお知恵がありましたら、ぜひお聞かせください。

